

予算決算委員会総務文教分科会会議記録
(補正予算審査)

1. 開催日	令和2年2月13日(木)
2. 場所	議員協議会室
3. 出席議員	隅田雅春座長、栗山泰三副座長、安井博幸委員、恒田正美委員、田村直也委員、河南克典委員
4. 欠席議員	なし
5. 会議に付した事件	議案第17号 令和元年度丹波篠山市一般会計補正予算(第10号)
6. 議事の経過	<p>隅田座長 開議宣告</p> <p>■教育委員会 日程第1 議案第17号 令和元年度丹波篠山市一般会計補正予算(第10号)</p> <p>教育総務課・こども未来課</p> <p>【主な説明】 補正予算書に基づき説明</p> <p>【主な質疑】 安井委員 先ほど説明いただきました49ページの幼稚園管理費の委託料で、そのたみみず幼稚園の監理費が250万円ほど管財契約課に直営でもらったから、業者に委託する分が節約できたということでしたね。同じように32ページの城東保育園費の監理委託料も管財契約課に直営でもらったから230万円ほど、両方で500万円ほど節約できたなと思うんですけど、当初の段階では、それは管財契約課にでもらえるってことは考えられなかったのでしょうか。 管財契約課のほうから断られたからこうなってしまったということに理解したらいいのでしょうか。その辺をちょっと説明してください。</p> 教育委員会 当初、計画を立てていたときは、管財契約課にお世話になるべしでこの分を計上しておりませんでしたけれども、管財契約課の業務が立

	<p>て込んでいることがわかりましたので、6月補正でこの二つにつきましては、計上させていただいております。しかし、工事を実施する時期には、管財契約課の事務のほうがうまく進んだということで、直営でできるということが途中で判明をいたしましたので、直営でお世話になり、今回、減額ということになります。</p>
安井委員	<p>46ページの奨学金貸付事業ですけれども、今年は公立高校がゼロで、私立が3名になったから減額になったということですが、来年8名とおっしゃったように思うんですけれども、来年は公立と私立の割合ってどうか、その辺はどのようになってるんですか。</p>
教育委員会	<p>私立の3名の方が来年度継続される。今年、予約として5名が確定しておりますのは、入学されてから、私立、公立が最終的に確定しますので、入られた後でないかわかりかねます。</p>
河南委員	<p>今のふるさと創生奨学金は、希望が多くて、整理するというか、申し込んだら、だいたい通るんか、このあたりのニーズというか、希望者がかなりたくさんあって、なかなか通らへんのか、申請すれば通るのか、今現状どうなんですか。</p>
教育委員会	<p>これにつきましては、一定の所得制限を設けておりますので、所得制限に合致する方であれば、人数的な制限は設けておりませんので、そこさえクリアしていただければ、全て通るという状況でございます。</p> <p>その制限を超えてしまう方については、どうしても落とさざるをえませんけれども、それ以外の方については通している。</p> <p>これまでの傾向から言いますと、ここ何年かは、3人とか、2人とかというちょっと低迷している時期がございましたけれども、予約制度を2年ほど前から導入しまして、中学段階で高校へ行く、予約ができるようにしましたので、若干増えている傾向でございます。</p>
河南委員	<p>ということは今現在、所得制限さえクリアできれば、貸与できると、希望者は。</p>
教育委員会	<p>はい。</p>
河南委員	<p>了解。</p>
栗山副座長	<p>32ページの城東保育園費の工事請負費が839万2千円減額ということで説明があったんですが、その工事内容について説明願えますか。</p>
教育委員会	<p>城東保育園の工事費につきましては、当初2,800万円で計上していましたが、最終確定額としましては、1,962万円で工事のほうは執行できました。当初、予定していました工事から、設計書を作</p>

成する段階で、もう一度改修するところを見直して、精査をしました結果、金額的には830万円ほどの減額で行える工事内容となりましたので、今回、工事が完了したため減額をしております。

改修工事の内容としましては、外壁の改修、雨漏りの改修で、保育室の合計4室の床の改修、園内全ての電気のLED化、職員用トイレの改修を主に行いました。

栗山副座長

そうしましたら、839万円の減額ということで、当初の見積もりといたしますか、工事をどの部分をやるかということについての、いわゆる見積もりが、十分にできてなかったということでしょうか。

教育委員会

城東保育園の工事につきましては、もちろん当初予算の要求時点で工事内容につきましては、きちんと現場の園長でありますとか、管財契約課の営繕担当の専門の職員も一緒に立ち会いながら、きちんとどの部分を直そうということで決めまして、それに見合った要求のほうさせていただいております。先ほど設計段階での精査ということはありませんけれども、それは本当にごくわずかの部分でございまして、今回減額の対象になりましたのは入札を行いました結果で、入札に伴う減額という部分が大部分となっております。

栗山副座長

そうしましたら2,800万円から1,900万円に、800万円以上もこれ入札による差ということは、見積額がかなり甘いということなんですか。その辺の差はどのような解釈したらよろしいのでしょうか。

教育委員会

入札に関しましては、今回たまたまそういう形で大きく減額になりましたけれども、その時期その時期によって、本当に幅がありまして、ぎりぎりのときもありますし、入札で落ちないこともあります。今回は時期がよかったのか、かなり低めの額で入札ができたということです。

田村委員

46ページの奨学金貸付事業ですけれども、所得制限と申請者の実際の所得との差はいかほどぐらいなのでしょう。平均して、大体で構わないんですけれども。あと、近年の返済状況であったり、利用者の声、利用希望者の声というものをもし、把握しておられるならば教えていただきたいと思います。

教育委員会

所得制限と申しあげましたのは、世帯所得の総額でございます。これから、ちょっと複雑な、公式がございまして、最終的には、所得、収入、世帯の収入から一定の式で、基準割合を算出して、その基準割合の1.7倍、おおむね1.7倍以下であれば、対象になると、こう

いうふうな形にしております。

この基準割合とは、もともとの世帯所得と社会保険料や生命保険、所得税、市県民税、勤労控除等を引いた認定収入から算出したもので、これがおおむね1.7倍以下であれば基準というようなことで、設けているものでございます。

田村委員

実際に今でしたら、公立5名、私立5名ということですがけれども、申し込んでおられる方々の世帯所得との差額と申しますか、実際、その基準割合の1.7倍以下で設定しておられるというお話だったんですけれども、実際に申請しておられるのがその1.7倍か、そのぎりぎりのアッパー層というか、上のほうなのかそれとも、1.7倍よりも随分下のものなのか、どのあたりの方が申し込んでおられるのかなと思ひまして。

教育委員会

これはそれぞれです。低い方もいらっしゃいます。1.2倍から1.3倍という方もいらっしゃいますし、1.75、1.8近くまで行かれる方もございます。これはもうおおむねという枠組みでしておりますので、必ず1.7より下回らなければいけないというものではなくて、貸与ということもございますので、できる限り、補助をしていけるような、支援していけるような体制づくりということで、その年によって、生活形態によってもいろいろというのが現状でございます。

それと、2点目の返済の状況でございますけれども、これまで滞納という形で結構ございました。今、滞納をされている、過年度の分です。これにつきましては、10名が滞納ということで、今年度15名いらっしゃったんですが、そのうちの5名については、完納していただいたというような状況にございまして、残りの10名の方につきましても、分納という形で、定期的に納めていただいているということで、全く支払いをされていない方は、今のところございません。

恒田委員

32ページ、認定こども園費のところ、社会保険料が味間認定こども園、たき認定こども園、結構大きな保険料が減額となってるんですけども、何か職員さんが退職されたか、そういう要因があったんですかね。

教育委員会

人数から見て、たきこども園の減額がかなり大きいんじゃないかという御指摘だと思うんですが、総務課に確認したところ、組織そのものが今回新たにできたというところがあって、少し最初多めの人数で積算をしておりました。3人ぐらいプラスで見てたのと、実際の金額につきましても不足すると困るということで高目で設定されていた

	<p>め、今回最終決算を見ましたら減額ということで、少し多めということになっておりました。</p>
隅田座長	<p>46ページのふるさと創生奨学金貸付金の件ですけど、今年の4月から私立の授業料もほぼ全額免除という形になると認識しておるんですが、当然、私立のほうが授業料高いもんですから、2万円と1万円と差が出るのかなと思ったりするんですが、私立の授業料がほぼ補助されるという流れになれば、支給金額は同額でもいいのではないかと思ったりもするんですが、そのあたりは検討されておるのか。認識はいかがでしょうか。</p>
教育委員会	<p>これにつきましては、授業料という考え方もあるんですけども、それ以外に教育にかかる費用があります。2年ほど前に研究をさせていただいた際に、私立のほうが非常に負担が大きいというようなことでございましたので、これにつきましては、授業料以外の部分での補助っていか支援ということも含めて、検討させていただいておりますので、この額で妥当だということと考えております。</p>
安井委員	<p>同じく奨学金の件ですけども、奨学金を受け取られてる方っていうのは、市内の高校へ行かれてる方が多いんですか、それとも市外の高校の方のほうが、要するに費用が大変だからということで奨学金を受ける方が多いのか。その辺ちょっとある程度傾向なりがわかったら教えてください。</p>
教育委員会	<p>今把握している中では、市内の高校へ通われてる方、市外に行かれてる方は半分半分というような状況でございます。</p>
田村委員	<p>奨学金貸付事業なんですけれども、基準割合が申請される方で、それぞれ1.2から1.8というお答えだったんですけれども、現在その滞納ではなく完納されている方、5名が完納ということで10名が分納されているということなんですけれども、それらの方々の所得の偏りといいますか、1.2から1.8それぞれということなんですけれども、状況というのは偏りがあつたりするのでしょうか。そしてまた実際にこれを利用しておられる方の声などをもし把握しておられれば、教えていただきたいんですけれども。</p>
教育委員会	<p>ここ何年かで借りられた方の集約したデータというのは、今、手持ちであるんですが、これ滞納されているということで、随分と以前に借りられた方のデータになりますので、手元にデータがございません。また、分析までには至っておりません。それと借り入れた方からの意見については、聞き取りをしておりません。</p>

安井委員	<p>ふるさと創生奨学金の件ですけども、これは高校に対するものですよ。そのあと高校出てから、大学なり大学院なり行かれる方もいらっしゃると思うんです。返済期間っていうのは高校出てから何年後から行われてるものなんでしょうか。あと気になるのは例えばその大学なり大学院行かれるときにまた別の奨学金を借りられてる場合が多いと思うんです。そうすると、とにかく奨学金を返す、返して要するに働き始めてからもその辺、あちこちに奨学金借りて、返すのがとても大変な状況に陥っておられるんじゃないかと思うんです。その辺の状況とかある程度わかる範囲で教えていただければうれしいんです。</p>
教育委員会	<p>多重の奨学金を借りられるというようなことも考えられると思います。丹波篠山市の奨学金につきましては、大学などの上の学校に行かれた、また大学院行かれた、そこにつきましては猶予をさせていただいて、卒業されてから10年間で、返していただくというルール作りをしております。</p> <p>また、猶予ということで申請を上げていただきましたら、これにつきましては、また検討させていただいて、無理のないように返済をしていただけるようなルールづくりに心がけております。</p>
安井委員	<p>実際そういう猶予を申請されてる方っていうのは、どのぐらいの割合でいらっしゃるんでしょうか。</p>
教育委員会	<p>今年度につきましては、お二人ということでございます。</p>
栗山副座長	<p>32ページの城東保育園の件なんですけど、今先ほど見積もりでの差額がこのようなになったという回答をいただいたんですが、やはり当初の見積もりが甘いんじゃないかというような気はするんです。その差はどのような見解になるんでしょうか。</p>
教育委員会	<p>先ほど申し上げたんですが、入札による減額ということですので、今回受けてくださった事業者が思ったよりも低い金額で落札いただいたということだと思います。</p>
栗山副座長	<p>思ったよりと表現されたんですが、800万円なにがしの金額が、当初の予算として上げられとったので、それが800万円以下で入札されて、約4分の1近い金額なんです。全体から見たら、2,800万円から見たらね、かなり大きい見積もりとの差があるんですよ。だから、それはやはり、教育委員会のほうで担当課の見積もりがやはりちょっと甘いと言うか、何というか、差が大き過ぎるかなというような気が私はするんです。1割とかその程度であれば理解でき</p>

るんですけど。これ3分の1、4分の1ぐらいの額やからね。最初の説明であれば、場所が違ってたという説明やったんやけど。二つ目の答えは、見積もりの差ということでいただいたんで、それはやはり、下手したら、もう少し入札額が上がれば、当然上がった金額になるし、下がれば下がった金額ですけど、この差は大きいと思うんで、高かったら高い金額でほんとに入札されますし、安ければその分がね、安く入札されるということで、その差は大きいんですよ。いうたら税金やからね。だから、安くというのはあれだけど、正当な見積もりであれば正当な金額で落とすのが当たり前なんで。その差がというのが、これからというか、今後ね、そういう差があんまりあってはないような、あってほしくないなという気はするんですが。

隅田座長

意見ということでよろしいですか。

栗山副座長

はい。

隅田座長

入札不調等もございますし、今の説明でよかったと思います。

学事課・学校教育課

【主な説明】

補正予算書に基づき説明

【主な質疑】

安井委員

48ページの教育費、教育振興費の小学校教育振興費のコンピューターリース料600万円の減額ですけどもこれは何台分の減額なんでしょうか。

教育委員会

今回の減額は、当初、9月更新を予定していたものを機種選定や機器の更新等を含め、学校とどのようなものを入れるのかを協議するなかで、更新時期をずらしたことに伴う減額であり、台数ではなく、月数分を減額しております。

なお、今年度更新の教育用パソコンについては、コンピューターームのデスクトップパソコンをタブレットPCに更新することが主な内容になるが、更新台数は300台程度を考えております。29年度に既に更新したグループがありますので、今回の対象校は残る小学校で6校、中学校2校、及び篠山養護学校分のパソコンとなります。

河南委員

48ページの中学校と小学校の管理費で電気代のほうを大幅に減額されとる。これなんか要因があるんですか。

教育委員会	空調設置について、現在も工事を行っておりますが、できる限り早期の完成を目指す中で、例えば夏に空調が設置された場合、設置以降、使うことも含めて、前年度実績のおおよそ1.5倍程度の電気代を計上しております。しかしながら、現時点で工事が順番に完了している状況に鑑み、今後の使用見込み額を算出して、その見込み額を除いた分を減額させていただいております。
河南委員	ということはことし使う予定が使わなかったということでその分が減ってきたということですね。大体その進捗は、どの程度、今現在は、進んどんですか。
教育委員会	中学校につきましては、2月10日及び2月12日に完了検査を行って、稼働できる状況になっております。 小学校については、中学校の発注後から順次発注していますので、今後、2月末から3月にかけて、完了次第、順次検査を行った上で稼働できる状態になるという状況です。
安井委員	今の空調の件なんですけども、この空調は、完成した時点から、暖房にも使われるんですよ。その辺確認したいと思います。
教育委員会	暖房にも使用する予定です。なお、冬場につきましてはストーブで最初に温度を上げて、上がった温度の維持管理に空調を使う方針で進めたいと考えております。その中で、丹波篠山市に合った使い方も見えてくるかと思っているが、当初は併用して使っていくことを考えております。
安井委員	46ページ、学校教育総務費の遠距離通学補助金が200万円近く減額になってるんですけども、遠距離通学の方が思ったよりも、少なかったということは、どういうふうに理解したらいいのでしょうか。
教育委員会	今回の減額につきましては、主に、西紀中学校路線バスの利用者見込みの減となります。西紀中学校の路線バスにつきましては、1人当たりの単価が高めであり、当初は余裕を見て要求しておりましたが、年度末の利用人数確定による減額となっております。
安井委員	西紀中学校でバスを利用して通学されてる生徒っていうのはどのぐらいの人数なんでしょうか。
教育委員会	今年度、利用人数が26人で、405万2,160円となっております。
隅田座長	46ページの学校教育充実事業の部活動支援員ですが、時間が少なく済んだということですが、これは自己申告になっているのでしょうか。タイムカード等を使っているのでしょうか。時間管理について、

	説明願います。
教育委員会	部活動支援員は、協力者になります。従いましてタイムカードは使っていない状況です。協力時間については、学校で管理しており、時間数を教育委員会に報告することになっています。
隅田座長	そうすると、例えば3時間、4時間支援したが、学校側が2時間しか申告しないということもあるのでしょうか。そういうことはないのでしょうか。
教育委員会	そのようなことはありません。依頼のときに時間を伝え、合意を得た上で支援に当たっていただいております。
安井委員	記録としてタイムカードなりで残すべきじゃないかと思います。そういうことは、市の担当としては考えられてないのでしょうか。
教育委員会	タイムカードは使っていませんが、それに代わる実績報告書という書類で時間数を管理しています。
安井委員	支援員の人数は、8人から15人と増えたが、支援時間は少なくなったため、金額が減ったということですが、クラブ活動に支障はないのですか。
教育委員会	支援員の方に、支援いただくのには時間的にも、曜日的にも限度があります。例えば、1日の部活動であれば、学校の授業が終わってからということになり、土日であっても活動に係る準備・片付け等の時間も含めて4時間程度を目安に、支援いただける範囲でお願いしています。ただし、今の支援員の制度では、単独で指導をいただくことができません。顧問がいて、技術指導をいただくということになりますので、その顧問の技術指導面での軽減にはなりますが、生徒指導面をすべてお任せするということではできませんので、教員とともに支援いただくことになり、すべての負担が軽減されているということにはなりません。ただ、技術面で不安を持つ教員の支援には十分なり得ていると考えます。
安井委員	支援員の方は、その種目のスポーツに対しての経験者だと思いますが、どういう経歴の方がおられるのか教えてください。
教育委員会	元教員や地域でスポーツに関わっている方、専門的にスポーツを進めてこられた地域の方に協力いただいている状況です。
安井委員	支援員の時給を教えてください。
教育委員会	時給は1,350円です。
隅田座長	47ページ、学校教育充実事業のJTEの活用について、未利用校があったとのことだが、JTEを利用しなくなった経緯やALTの活

教育委員会

用状況等説明願います。

A L Tは、現在8名います。そのことにより、小学校にも手厚く対応できるようになりました。また、ジョリーフォニックス教材の活用等に係る研究も進め、市内でワーキンググループを立ち上げ、小学校教員の力量を高める取り組みを進めており、校内研究において外国語活動に取り組む学校も増えてきています。そのような中で教員の専門性も少しずつ上がり、取り組みを進めていく中で、A L Tと協力して授業が成立するところがあります。

栗山副座長

46ページの協力者謝礼ですが、協力者の人数が減っている状況なのではないでしょうか。その部活が、先般、廃部にするとかいう話も聞いていますが、先生の負担が大きいため廃部していくというような方向性があるのかどうか、見解を説明願います。

教育委員会

部活動支援事業の協力者は、延べ15人です。うち1人は3校を受け持ちされており、13名に協力いただいています。協力者は、増えている状況です。

栗山副座長

ある中学校の部活動が廃部する状況であると聞いていますが、その背景には、先生の人数が不足している状況があると考えますがいかがでしょうか。

教育委員会

その課題につきましては、各学校の生徒数が減少しており、配置される教員の数も減ってきている状況です。部活動を運営する上で、顧問が複数配置できないというような状況があります。安全面の確保をはじめとする課題解決に向けて、それぞれの学校と協議を進めながら対応しているところです。今後も慎重に検討しながら方向性を見出していく必要があると考えます。

社会教育課・文化財課

【主な説明】

補正予算書に基づき説明

【主な質疑】

安井委員

51ページの丹波篠山総合スポーツセンター管理費の機械器具の件なんですけども、スポーツセンターの機器が新しくなって利用者がふえて喜ばれてるっていうのはよく存じてますので、篠山口駅前のスポーツジムが閉鎖になったことに伴って、スポーツセンターへあそこで

トレーニングされてた方が、移行してこられて倍ぐらいにふえたと思うんですけども、機器自体、思ったより安く済んだということで、よかったなと思うんですけども、ただあそこって、すごく人が多く汗を流すせいか、カビの問題がありましたけどもカビ対策もされてるんですが、もう少し人が利用しやすいようにするために、例えば、川代体育館にもスポーツのトレーニング器具が少しあるんですけども、もう少しあそことも分担するとか何かそういうふうにして、何かあそこ行ったら、混んでるから使いにくいという苦情をよく耳にするんですよ。その辺のことについてはどのように考えておられるのか、ちょっとその辺の見解をお尋ねしたいんですけど。

教育委員会

実際にどれぐらいの人数の方がどの時間帯にたくさん来られてるかっていうのを調べておりますので、簡単に御説明をさせていただきます。10名以上の場合、1月ですけども、時間帯としては午前中10時から11時が一番多くて、1月で10日間あります。その次が9時から10時が5日間、その次が11時から12時、2日間、19時から20時が2日間、そして1日だけですけどこれちょっと理由がわからないんですけども、15時から16時、通常この時間帯は人が少ない時間帯なんですけど、これが1日だけ10名以上の日がございます。それ以外の時間帯につきましては、6人、7人とかというふうな形になりますので、一つは、指定管理者のほうで混み合っている時間についての張り出しであったりとか、できるだけ少ない時間帯をお勧めしたりとかですね、いうふうな形で対応させていただいておまして、確かに午前中に毎日来られている方とか、長い時間おられる場合と、短い時間の場合、大体1時間から長くて2時間ぐらいなんですけど、それ以上おられるとどうしても時間をまたいでいきますので、多い時間帯がたくさんあるように感じる場合はあるかと思えます。

もう1点、川代体育館との分担ということでございますけれども、丹波篠山総合スポーツセンターにつきましては、丹波地域の中で最もすぐれた装備を持っている施設ということで、先ほどおっしゃられた民間のジムに行かれたような方にとっては、そのレベルを維持したいという民間のレベル、またそれ以上のところを使いたいという方が多いですので、なかなか川代体育館をお勧めしたところで、それほどの機械器具もないというところでなかなかそちらのほうに行かれるということは少ないというふうに考えています。

田村委員

スポーツセンターの機械器具のことについてなんですけれども、更

新されたということで今まで使っていたものを、川代体育館で再利用するというのは無理なんでしょうか。先ほど分担というお話が出たんですけれども、他市の事例などをちょっと見ていますと私がちょっと現役のときの世代なのでその時と価格の差などはあるかもしれないんですけれども、大きなスケートリンクの側にウエートの器具があったりするようところが何か所かあったんですけれども、そういうところは1時間50円なり100円なりで使えたりするようところもあって、そこを利用するというのは学生さんですね、小中高の学生さんがそういうところを利用されてるケースが多かったんで、そういうところのすみ分けという意味でも、川代体育館を利用して、主に学生さんが安く利用できるというのも一つの手ではないかなというふうに思いました。できるんでしょうか。

教育委員会

まず旧の機械器具につきましては全て廃棄ということで、ございませんので再利用できません。それから、川代体育館のほうは使用料は無料になっております。お金がいない状態の中で、御利用される方はどうぞということで、定期的にといいか、ちょっと使いたいなという近所の方が何名か来られているというのはお聞きしてますけれども、内容としては、昔からあるトレッドミルであるとか、エアロバイクであるとか、複数台あるだけですので、それが全部埋まっているような状況というのはいない状態です。

田村委員

川代のほうは無料で利用できるということなんですけれども、ちょっと専門的にトレーニングを行うっていうには器具の種類が少なかったんで、それで今回、スポーツセンターで使っていた分を、というふうに考えたんですけれども。今現在スポーツセンターに入ったものと同様ではなくて、もっと低い予算で川代体育館のほうを充実させるというのも一つ考えてみてもいいのではないかなというふうに思いました。

安井委員

先ほど最初に言ったとき、気になってたのがカビの問題なんです。カビ対策されたの存じてますけども、要するに結構汗をかいて、それほど広くない空間にトレーニングジムがあって、カビ対策としてこれからどのようにされようとしているのか、その辺あたりをちょっと、お聞かせ願いたいと思います。

教育委員会

まず指定管理者のほうで空気清浄機を3台入れていただいています。昨年の6月に強制的にカビを除去するという作業を丸々1日かけて実施しました。そのあとに、その3台の空気清浄機を入れていただ

	<p>いてまして、その後は、発生はしていないという状況です。今後、もしまた発生するようであれば、強制的に除去する作業をしていくということを考えております。</p>
栗山副座長	<p>51ページの文化財保護管理費についてお伺いします。補償、補填及び賠償金ということで318万2,000円減額が計上されておりますが、これは、立木補償ということで1本4,000円とのことですが、もう少し詳しく説明願います。</p>
教育委員会	<p>当初、森林管理署の指導により、国交省の用地対策連絡協議会の立木補償標準単価表に基づいて積算しますと1本4,000円。数量ですけれども800本というふうに計算しておりました。ただ調査を行いまして、また切る木の基準ですね、それが胸高直径といいまして、ある一定以下の直径のものはもうカウントしなくてよいというようなことで、300本まで減りまして、最終的に林野庁の補償単価の算出基準が変更になったということで、林野庁のほうから金額の提示がありました。それが大幅な減額になった理由ということで、林野庁の積算基準について教えていただくようお願いしたんですが、それは、明かしていただくことができませんでした。</p>
安井委員	<p>51ページの文化財保護管理費のところなんですけれども、借地料が面積をはかり直したら、7,700㎡まで減ったから減額ということでしたけれども、平米あたりは幾らで借地されてるんですか。</p>
教育委員会	<p>正確には7,748㎡でして、8か月分の積算になっております。1㎡あたり44.2円で積算しています。</p>
安井委員	<p>借地ですけれどもこれは何年間の契約にされているのでしょうか。</p>
教育委員会	<p>契約は、単年度ごとになっております。更新していくという形になっておりますが、最終期限というものは設けておりません。</p>
隅田座長	<p>20から21ページの脊椎動物化石保護・活用事業のところなんですけれども、学校が14校から7校ですか、何か減ったというふうな説明あったんですが、小学校の太古のいきもの館のこの化石の利用方針といいますか、どのような感じで各学校が、それに向かっておられるのかそのあたり、説明願いたいなと思うんですけど。</p>
教育委員会	<p>利用方針ですけれども、地域の自然というものにまずは親しんでいただくということと、これは全校実施で昨年も全校実施いたしております。今年度あと1校未実施ですけどこれも実施する予定で進めておりました。全ての子どもたちに、やはり地域の自然、貴重な化石があるということをまずは知っていただくということで石割体験ですとか、</p>

露頭の見学のように現地へ行って、それを見て勉強していただくと。将来的にボランティアの育成など、大人になってもつながっていけばという思いで進めています。

隅田座長

小学生が割って、例えば昨年度だけで、今年度でも結構ですけど、実際、化石というものは出てきておるのでしょうかね。

教育委員会

その使う石によって違うらしくて、大体1回に10個出るときもあれば、0というのはほとんどないんですが、やはり一つか二つしか出ないというようなときもあると聞いております。

安井委員

20ページの脊椎動物化石保護・活用事業のどこなんですけども、これは、例えば小学校ですと何年生のときに、この施設へ行ってやるのか、そういうふうに決まってるのでしょうか。それとも、学校全体でいくとかいうふうになってるのでしょうか。

教育委員会

6年生のときに地層の学習の時間がありますので、それに合わせてということで、年度の後半になるらしいんですけども、6年生の後半の授業のときに、実施するというようになっております。

安井委員

この施設自体は並木道中央公園の中にある建物やと思うんですけど、あの建物って年間何人ぐらいの方が入館されてるのでしょうか。

教育委員会

平成30年度の入館者数は4,889人でした。実際訪れる方は、公園に来られた方で、特にそこを目的にしてこられてなくて、立ち寄っていただいたりしてるんですが、やはり展示室が大きなスペースではございませんので、見られても数分で立ち去られるというようなこともありまして、やはり体験ということを当初から重視しておりますので、石割イベントですとか、そういったもののときに、できるだけたくさんの方に来ていただいて実施するよう目標を持ってやっております。

中央図書館・田園交響ホール・東部学校給食センター・西部学校給食センター

【主な説明】

補正予算書に基づき説明

【主な質疑】

田村委員

50ページの図書館管理運営費の印刷製本費、地域新聞のPDF化で81万2,000円の減額とのことなんですけれども、これの内訳などわかりましたら教えていただければと思います。

教育委員会	<p>まず地域新聞の電子化は田村委員にいろいろ御指摘いただき、設計の見直しを行いました。いろんな業者に改めて内容の確認をとり、設計内容の精査をしたところ、設計金額が若干下がりました。それを改めて入札を行ったところ、金額が82万600円で契約ができましたので、その分についてももとの予算額から減額をしております。</p> <p>また、同じ費目の中で、読書手帳につきまして、当初1,000冊の執行の予定をしておりましたが、1万部に増刷しました。この読書手帳につきましては、篠山市の名前のものが幾らか残っておりますが、丹波篠山市の名前のものがございませんでしたので、今回、新たに増刷という形で執行させていただきました。差し引きをして81万2,000円で、今回、減額計上させていただいております。</p>
田村委員	<p>82万600円になったとの御説明だったんですけども、ここには今後のランニングコストなども含まれているという御説明だったと思うんですけども、この82万600円の内訳などわかりましたら、教えていただきたく思います。この82万600円という中にさまざまな作業が含まれて、そのデータの管理や、運営などというのはここに含まれておられないということですね。</p>
教育委員会	<p>作業は、篠山新聞の大正9年からの分でございますけれども、まずは製本されているものの、折りがあるものや多少傷んでいるものの修理をし、次にそれを全部ばらしてしまつてスキャニングをします。スキャニングの方法につきましては、オーバーヘッド型にするか、フラットベット型にするかは、設計では安価なものを見ておりますけれども、業者やりやすい方法で実施します。次に、スキャニングを行ったものの目録を作成して、光メディアのDVDに焼きつけをし、正副という形で納品をするということになります。したがいまして、そこから後のメンテナンスは基本的に今回の業務に入っておりません。</p>
安井委員	<p>50ページの図書館管理運営費のことなんですけども、印刷製本費の中に読書手帳も含まれているということですね。読書手帳の部分はお幾らなんですか。要するに、読書手帳自体、今1万部とおっしゃいましたっけ。作るのにはどのぐらいコストかかっているんですか。</p>
教育委員会	<p>当初は1,000部を予定しておりました。予算ベースで言いますと18万円程度でした。それを今回長期的なことも考えて、予算的に少し余裕ができたので1万部にしたところ、約30万円で契約となりました。細かい金額は今持ち合わせていませんが、1冊当たりの単価はこれでかなり安くなっています。</p>

安井委員	読書手帳、たしか子ども用と大人用とあったように思うんですけども、その内訳ってどうか、どういうふうになってるんですか。1万部の中に半々ぐらいなんでしょうか。
教育委員会	その通りです。半分半分の5,000部、5,000部です。
安井委員	読書手帳は、現時点でどの程度、市民の方に利用されてるのかって、要するに、今までどんだけ発行したかっていうのがわかってるんやったらちょっと教えてください。
教育委員会	読書手帳の数ですが、これは29年度から実施した事業ですけども、一般用が2年間で640冊出ております。子ども用が886冊でございます。子ども用につきましては、最初の年は、中学校までの全員に配らせてもらったんですけども、それ以降は、全ての学校新入生に1冊ずつお渡しさしてもらって、またそれがいっぱいになったら、追加していくというような形で、市民の皆さん、それから子どもたちに配布をさせていただいております。
安井委員	52ページの学校給食調理費のことなんですけども、東部学校給食センターでは、1万7,000食ほど減ったから、調理費が430万円ほど減ったということですね。西部学校給食センターのほうは1万300食ほどでしたっけ、食数減って、230万円ほど減ってるわけなんですけど、何か単価がちょっと違うなというふうに感じるんですが、その減った数による金額がですね、どういうふうなことなのかっていうのをちょっとわかれば教えてくださいたいんですが。
教育委員会	欠食となった内訳の人数的なもので、給食費として230円、250円、280円の3段階ありますので、高いところの金額が欠食になった割合の大きい方が、減額が大きいという現象になっています。
隅田座長	交響ホール管理費なんですけど、チケットの販売が好調だったというような説明があったと思うんですけども、特定の演目が好調だったということなんでしょうか。それとも全般的に好調だったということなんでしょうか。
教育委員会	チケットの販売が好調といいますか、交響ホールで貸館事業として、借りていただいている分のチケット販売を私どもでした場合、10%の手数料をいただいておりますんですけども、そちらのほうが多かったということで、特に7月に、吉本バラエティショーを吉本さんが主催で、貸館としてされたんです。普段でしたらうちが主催でやるんですけど、今回、貸館ということで、うちが売らせてもらったのは大体400枚近く販売できましたので、手数料として、13万3,800円

が入りました。それが主に大きいということでございます。

■行政経営部

日程第1 議案第17号 令和元年度丹波篠山市一般会計補正予算（第10号）

財政課・管財契約課・税務課

【主な説明】

補正予算書に基づき説明

【主な質疑】

- 田村委員 資料ひょうご地域創生交付金充当先整理表にあります事業対象外による減の森づくり課のサル用電気柵が特別交付税で措置されるということなんですけれども、これは場所的にはどちらの分になるんでしょうか。
- 行政経営部 このサル用電気柵につきましては、一旦、国庫の補助を受けております事業整備は終わっており、追加で希望されることについて、市単独で行っている。実施は森づくり課でやってるんですが、場所がどこというよりも市内の希望があった集落に対して実施しているものです。
- 河南委員 確認しときたいんですけど、ハートピア北条団地を売却されたということで、いつ一区画売れたんかいね。あと残り何区画になっとるんかいね。
- 行政経営部 当初、1件分の売却の予算措置をしていたものが、売却できなかったため、決算見込みによりその1件分が落ちるということでございます。ハートピアですが、残り5区画残っております。
- 河南委員 13ページ、管財契約課の物品売払収入、官行分収林の42万3,000円あったということ。これは、面積はどの程度やって、これ43万円市に収入があったんか、わかるのであれば。そして今後の方向、これ後の官行分収林、今後、どういうふうを考えられておるのか、お願いします。
- 行政経営部 対象の面積が61ヘクタールですけれども、今回させてもらったのは林道整備とか、あとは間伐材っていうものを売却したんで、まだ全部皆伐して出すとかいう予定はまだ立ってはないんです。これは今田町の四斗谷の分収造林地でございます。

河南委員	これは分収林を伐採したということではなしに進入路をつけるために、入ったときに間伐材やったその分の43万円と、こういう理解ですか。
行政経営部	作業道整備のために、切っていったものとかを売っていったというもので、売ることを目的として、やっていったものではございません。
河南委員	進入路、作業道をつけたということは、将来もう近いうちに、分収林を伐採するというような計画はあるんかいな。
行政経営部	確かに言われるとおり、道路整備するんやから、今後、そういう計画、当然していくっていうことになるんですけども、具体的な計画ということになると、それはなっていないです。ただ、当然その山を管理していくに当たっては、道がないとできないような状況なので、その整備をしていっているということでございます。
隅田座長	ふるさと納税ですが、大体1億5,000万円ぐらいと思っておったんですが、今回1億2,000数百万ですか。頑張ってもらっておる割には、伸び悩んでおるなと思うんですが、そのあたりの総括的な、感触といいますか説明をしていただければと思うんですが。
行政経営部	ふるさと納税につきましてはこの後の創造都市課のほうでまた詳しく説明はあると思います。我々が得た情報の回答になりますと、1億5,000万円弱の当初予算を持っておりまして、本年度前半までは、一部アマゾンのギフトとか、いわゆる高額な返礼品があるところに、殺到しておりまして、全国的に見ても8割から9割程度と少なくなっているところが多いということで、当市の場合、差し引き1億2,000万円あまりと申し上げましたが、その金額が約85%になります。
河南委員	ひょうご地域創生交付金の関係で、サル用電気柵、これはもともとほかの補助メニューで出とったやつが、特交に切り替わったという説明やったと思うんですけども、もともとの補助制度にのっとってやったやつが、その分が特交に変わるということはよくあることですか。
行政経営部	特殊な事情ということでは、うちの場合でしたら、獣害関係が対象になってくるということで、新たに追加されることも特殊な事情があれば、全国的に珍しいということであれば拾っていただいて対象になるようなことがございます。
河南委員	その辺特交で入ってしまつたら、わからんようになってしまつて、十分気付けとかへんだら、なんかごまかされとるようなところがあるんじゃないかと思うんで、ただそれだけの意見です。
安井委員	13ページの物品売払収入なんですけど、市バスの更新ということ

行政経営部	でしたが、この市バスは何年ぐらい使われた市バスなんですか。
隅田座長	御質問の市バスにつきましては、平成11年の市バスです。
安井委員	20年やね。
	20年経ってて結構高い値段で買ってもらえるんだなっていうのはちょっとびっくりしたんですけども、やっぱり、市としては大体20年ぐらい、そういう車を使うという方針で今されてるんですか。
行政経営部	バスの場合、特に特殊ではあると思うんです。当然専門の業者が、3か月置きの点検もしておりますし、日常点検も絶えず業者のほうでしてるっていう、そういう状況もありますので、20年程度は大丈夫かなということで、やっております。一般公用車につきましては、15年程度での更新ということを考えております。
栗山副座長	53ページの公債費の利子なんですけど、清掃センターの丹波市分担金ということで、11万2,000円減額ということになったんですけど、今後丹波市との清掃センターの丹波市側の取り組みの方向性というものについての情報あればお願いします。
行政経営部	今後の丹波市の情報というのは今持ち合わせておりません。今回については利子の予算額はゼロで、利子の減額を先の補正予算で行わせていただきました。丹波市との分担金を今回の補正で減額させていただいたことから、今回財源更正が起きておるということになります。
隅田座長	今追加でいただいた資料の中に、B&Gの海洋センター改修という630万円ぐらいがあるんですけど、当初は6,000万円ぐらいで今改修作業しておると思うんですけど、これは別途違う部分を決めた追加工事というふうな認識でいいんでしょうか。
行政経営部	今回県のひょうご地域創生交付金の対象とさせていただいてますのは、バリアフリーとか、スロープとかそういう部分を、補助の対象にさせていただいて、その2分の1を交付金で充てさせていただくという形で、外壁の改修ですとか、そういう部分はB&Gさんの補助ということになります。
隅田座長	今子育て支援センターが入っておるんですけども、そういうバリアフリー化とか、そういう工事が必要ということなんじゃないかな。体育館兼子育てふれあいセンターという形で高齢者が使うような施設には、見えないんですけどもそのあたりはどういう利用目的があってここは対象になったんでしょうかね。
行政経営部	今回の改修に当たりまして、階段がありましてスロープがなかったのでスロープの設置ですとか、入ったところのトイレの改修ですとか、

そういう部分、もともと改修を予定しておった部分を今回、ひょうごの交付金を充てさせていただくということでもあります。

■選挙管理委員会

日程第1 議案第17号 令和元年度丹波篠山市一般会計補正予算（第10号）

【主な説明】

補正予算書に基づき説明

【主な質疑】

安井委員 24ページの参議院議員選挙費の中の時間外勤務手当が150万円ほど減つとるわけですけども、それは、開票が思ったよりも早く終わったということでないかと思うんですが、その前の参議院選挙に比べて今回は、何時間ぐらい早く終わったんですかね。

選挙管理委員会 職員の時間外勤務手当につきましては先ほど御指摘いただきました開票事務や投票事務、その他の事務もあわせての時間外勤務手当の削減ということでございます。それと開票事務については、今回は約1時間で開票が終わりました。この1時間というのは兵庫県内でもかなり早い中での終了ということでございます。特に今回、投票用紙の分類機というのが、かなり効果を発揮いたしまして、開票作業がかなり早く終わったというのが一つの要因かというふうに考えております。

隅田座長 分類機の効果が非常にあったということですが、さらなる効率化のために導入すべきような機器等は考えられておられるんでしょうか。もうこれが極というふうなところなんでしょうか。

選挙管理委員会 選挙に係る機器につきまして、分類機については現在、2台ともう1台ちょっと性能の違うものがあります。分類機は、更新の必要もあるので、そういうのを踏まえて、機器の導入については検討していきたいというふうに考えております。

安井委員 分類機っていうのは何年ぐらい使えるものなんでしょうか。

選挙管理委員会 耐用年数とかもあるんですけども、大体、7、8年か10年近くは使えるかなと思います。1番の問題になりますのは、あまり時間が経過すると、修繕用の部品がなくなるということがありますので、そういうのを踏まえて、整備の検討をしていきたいというふうに思います。

■企画総務部

日程第1 議案第17号 令和元年度丹波篠山市一般会計補正予算(第10号)

総務課・創造都市課

【主な説明】

補正予算書に基づき説明

【主な質疑】

安井委員 20ページのふるさと篠山に住もう帰ろう運動推進事業の回数特急券購入補助金っていうのが減額なってるんですけども、何人を想定されて、実際何ぼぐらいになるということで減額になったんでしょうか。

企画総務部 特急券につきましては、予算要求時期の10月ぐらいに、予算計上いたしますので、平成29年の実績をもとに、予算計上しております。前期が190人、後期が平成29年度188人ということでそれで計上しておったんですけども、今年度の前期につきましては、163人の方に交付決定をしております。後期につきましては、190人のほうで見込んで、今回の減額とさせていただきます。

安井委員 公共交通対策事業に市単独バス対策等補助金っていうのが神姫グリーンバスの収入実績を国土交通省の指導により従来の特定期間の乗降調査結果から、ICカードの年間実績へと変更されたことによって、500万円近く補助金がふえるということなんですけども、今までのやり方とそんなに大きく、なぜ変わるのかなっていうのがもう一つよくわからないので、説明お願いできますか。

企画総務部 従前は、年間の収入を1年間のうちのある1週間、7日間を区切って、神姫グリーンバスさんのほうで乗降調査を、それぞれのバスに調査員を置いて、収入が幾らあるかという算出をされております。1週間に例えば、何十人とか乗られたらですね、それ掛ける54週分というような計算をされておったわけでございますけれども、国土交通省のほうから、ICカードが現に入るようになって、1件1件当たりの調査実績ができるようになってきているので、1週間分をまとめて54週掛けるというようなことではなくて、毎日の実績に基づいた調査に直しなさい、そういうような指導があったということで、今回その見直しをされたということで聞いております。

安井委員 調査方法によって大きな違いが出たっていうことは、やっぱり間に、夏休みとかそういうのがあるからっていうふうに理解していいんですし

<p>企画総務部 河南委員</p>	<p>ようか。 御指摘のとおりでございます。</p>
<p>企画総務部</p>	<p>41ページの企業振興・誘致促進費のところ、今現状も具体的な話が進んどるんで、誘致のほうは、そっちのほうに力を入れたと。こういうことですが、これは、既存の中央のところの例の話に、そっちのほうに力を入れたということですか。</p>
<p>河南委員</p>	<p>現在中央地区につきましては、開発の許認可申請までおおむね進んでおります企業がございまして、それ以外にも関心を寄せている企業、あるいは、さらにもう一步踏み込んだところの企業が出てきているということが1件、それから犬飼初田地区につきましても、より地元の皆さんと協議ができるようなところまで関心を寄せていただいている企業があるという状況でございます。</p>
<p>栗山副座長</p>	<p>そういうのがあるということで本年度、十分フォローしてほしいと思うんですけど、今日も例のウイルスか何かの関係でニュースが入ったんですけど、アイシン精機なんかもうこっちに引き上げるというところが今大分出てきとるように思うんですわ。そういうようなことから企業誘致しても人がね、問題あるんで、次の段階、企業疎開というんか、その辺を狙っていく必要があるんじゃないかなと。だから企業誘致の方法も一遍、十分、今年検討してもうたらええんやないかなと。今あるということはいいことなんですけども。</p>
<p>企画総務部</p>	<p>20ページのふるさと篠山に住もう帰ろう運動推進事業について、お伺いしたいんですが、わが家・わが村の住もう帰ろう運動推進補助金が796万7,000円減額になっておりまして、方向性についての今御説明があったんですけど、今後どのように方向転換と申しますか、具体的な方法が今あるのなら教えていただけたらと思います。</p>
<p>栗山副座長</p>	<p>3年間の実績を踏まえまして、今までは推進補助金という形で地域の皆さんで活用いただきたい、また、活動していただきたいということで10万円の助成を行ってきておりましたが、なかなかそれだけでは前向いて進まないということも明らかになってまいりましたので、来年度以降につきましては、各自治会にいらっしゃいます定住促進推進員さん、こういった方々と協力をしながら、これら推進員の活動をさらに充実させるため、各地区の状況を聴取・把握して、地区ごとの課題解決につながるよう推進員の地区リーダーを配置していく方向で考えています。</p>
<p>栗山副座長</p>	<p>今の答弁聞かせていただいて、大変有意義なことじゃないかと思う</p>

んですが、待ち受ける側と来ていただく側が、やはり一緒にマッチせんと前に進まないと思うんです。関東圏内からのやっぱり移住に力を入れたら私はどうかなと思いますんで、兵庫県と一緒にやることがあるかと思うんですが、その辺のところも、模索していく必要もあるんじゃないかと思います。これは、一般質問でも話したこともあるんですが、そういう方向性も、兵庫県も進めていく必要があるかと思っています。これは意見ですけど、検討してください。

田村委員

丹波篠山ふるさと応援寄附金事業に関連して、ふるさと納税にかかわるところなんですけど1億5,000万円程度を見込んでいて1億2,000数百万円で85%ぐらいという御報告だったんですけども、全国的にも8割から9割ということで全国的に落ち込んでいるのと同程度なんじゃないかということなんですけれども、当市に関しましては5月に市名変更しまして、その際にも2,000万円ほどの予算計上して、PRを行ってきた上での85%なので、それは昨年9月ごろ好調だった反動という言葉だけで片づけていいのかなと思うのですけれども、そのあたりはどのように考えておられるのでしょうか。

企画総務部

今御指摘いただいたとおり、減額をさせていただくということについては、非常に今年度の反省点だというふうに認識をいたしております。提案をさせていただくに当たって何点か分析をさせていただいたんですけども、こちらの努力が足らなかったということもまず1点あるかと思っています。そのほかの分析をさせていただきますと、丹波篠山市の場合は、返礼品の商品の単価が全体的に安い、低いということから寄付額がなかなか伸びないということがまず1点考えられそうだと見えてきました。それからもう1点は、秋のシーズンには非常に人気があるんですけども、黒枝豆を中心としたものにつきましては完売状態にあるということで、やはり今、農産物の提供供給体制ということも課題になっておりますが、そういった特産振興であるとか、市内の商品開発、こういったものと連動させながら、ふるさと納税、最近では批判的な言葉で言われているのはカタログショッピングというようなことも言われてますので、そう考えると、ふるさと納税だけお願いをするということではなくて、市の売り物を開発していく、あるいはそれを特産振興・ブランド振興につなげていくというようなことをあわせてやっていかないといけないのかなということで、これからしっかり取り組んでいきたいなというふうに考えております。

安井委員	<p>20ページの公共交通対策事業の高齢者タクシー料金助成事業補助金なんですけども、想定よりも下回ったという、実際、何人を想定して、何人ぐらいになりそうだっていうことと、それとどういうところに、どういう制度設計に問題があったと考えておられるのか、そのあたりをちょっと教えてください。</p>
企画総務部	<p>当初想定人数が310人で見込みが250人であると、長寿福祉課に確認している。また、制度設計の問題点というか特色ということで、御理解いただけたらと思うんですが、丹波篠山市のほうでこのタクシー助成券を設定をしたときには、近くの方が便利になるということだけではなくて、むしろ少し遠方の方に軸足を置かないといけないのではないかとというような形で、設計をさせていただいております。といいますのは、例えば半額助成ということにしますと、当然近くの方が、要は、病院の近く、それから買い物の行き先の近くの方が恩恵をより受けるということになりまして、遠い方につきましてはなかなか不平等性、不公平性があるのではないかと認識から、利用料金からまず1,000円につきましては御負担をさせていただくということで差し引きをさせていただいて、その残りの金額の半額を助成するというような形にしております。例えば、3,000円のタクシー料金がかかったとすると、1,000円を引いた残りの2,000円の半額1,000円を補助させていただくと、というような形でございます。逆に比較的近いところで1,500円のタクシー助成ということになりますと、1,000円を引いた残りの500円に対しての半分ということですから、250円の助成ということで、余りメリットがないというような設計をさせていただいております。これはお隣の三田市とか阪神間の市区町村なんかには尋ねますと、どうしても便利なところがより便利になる、そういうことだけに終わるといようなお声をいただいたもので、こういう設計にさせていただいておりますが、その結果なかなか利用が伸びなかったのではないかとというふうに考えております。利用実績等につきましては現在ちょっと資料を持ち合わせておりません実績のほうは、長寿福祉課のほうで実際の事務を行っておりますので、後ほどちょっと資料提供させていただきたいと思っております。</p>
安井委員	<p>今説明された趣旨っていうのはよく理解できるんですけども、ただ、実際利用者が想定したよりも少なかったということは余り便利でないところに住まわられてる方も利用していないというふうに理解していい</p>

企画総務部	<p>んでしょうか。</p> <p>全体の傾向といたしましては当然、遠いところになればそれだけやはり負担がふえるということになりますので、利用頻度は必ずしも高くなっていないという状況です。ただ実際にもしものときにということで、タクシー助成券の資格証明のようなですね、そういったものだけをあらかじめもらっとく、登録しておくという方につきましては現在着実にふえているという状況です。</p>
隅田座長	<p>諸収入の雑入について、ホームページバナー広告料が目標に達していないということで、どのようなお願いの手段をとられておるのか、そのあたり説明をお願いしたいと思います。</p>
企画総務部	<p>現在のところ、ホームページのバナー広告につきましては、ホームページ上で空き枠についての募集を行っておりますのと、あと1年ごとに主に更新を行っておりますが、現在利用されている更新の時期に、対象の事業者継続のお願いをしているところでございます。各事業者さんからは、自社都合により、バナー広告の掲載をやめるというような申し出がございます。</p>
隅田座長	<p>そういう場合に、例えば職員に個別にお願いをすとか、何かそういうふうな手段というのは考えておられるんでしょうか。</p>
企画総務部	<p>以前は、市長が企業訪問されるときに、お願いの文書を持って行っていただいて、直接お願いをすることも何年か続けたりしましたが、なかなか効果が得られず、また、できるだけ企業さんも一定期間は協力していただきますが、引き続いて長期になると、なかなか経費の面もありますので、難しいところもあります。新たな企業さんに利用していただけるように、広報やホームページ通じて周知していきたいと考えています。</p>
隅田座長	<p>文書広報費で広報紙は入札で、62万円幾らかの減ということですが、これは確認も含めてですが、広報紙の印刷は、市内業者に限っておるということでしょうか。それとも、もっと広くお願いできるか、また、ネット上での応募もできるのか、そのあたり説明をお願いしたいと思います。</p>
企画総務部	<p>入札業者につきましては、市内業者だけではなくて、市外業者も入っております。現在は三田市に営業所がある業者をお願いしております。入札業者につきましては、ネットではなくて指名入札を行っております。</p>
隅田座長	<p>わが家・わが村の住もう帰ろう運動ですが、利用されたのは30地</p>

区ということで、やはり各自治会でこれを実施するというのは非常に難しいところもあるのではないかなど。行政側がソフトのサンプル的なものが幾つかあってこういうふうにされたほうがいいのではないかなどとかそういうふうな啓発の材料も必要と思うんですが、明年度に向けて、新しい手を考えておられるというふうな話も聞きましたが、総括も含めてどういう方向性で考えておられるのでしょうか。

企画総務部

今御指摘いただいたように、それぞれの自治会ですることについては限界があるのではないかなどということでございます。以前はまちづくり協議会単位、まちづくり地区単位でお世話になっておりましたけれども、それではなかなか、逆に風呂敷が広過ぎてというか、キャパが大き過ぎて、自分事にならないのではないかなどというようなこともあったりですね、それから総合戦略のほうでもうたっておりますけれども村ごとの1%運動とか、1%回帰運動というようなことが島根県のほうでも実践をされてきたということで、集落単位であるいはわが家わが村でやっていただくほうがいいのではないかなどというような考え方でこれまで進めてきております。やはりより小さな単位でやっていくほうが自分事になっていいという考え方については、現在もその必要性というのは考えておるわけでございますが、一方で、考えるのは自分たちの村であるいは自分たちの家の中で自分事として考えていただく。しかし取り組みにつきましては、まちづくり地区等も含めて、もう少し大きな単位で動いていただけるような気運を盛り上げていくというようなことが必要なのではないかなどということ、少しその辺の軸足をですね、バランスよくやっていこうというのが今現在の考え方でございます。御提案いただいておりますソフト的なサンプルというようなものも御指摘のとおりかと思っておりますので、その辺につきましても研究して進めていきたいなというふうに思います。

隅田座長

丹波篠山市のキャッチフレーズが、日本の宝石W a k u W a k u 都市と、自分たちの村の宝石とは一体何かといったふうなところのくみ上げ方がいまいわからないといったところもあると思うんですね。農村部、また、町の中、丹波篠山市も広いもんですから、その地域の宝石の見つけ方といったふうなものを、ちょっと行政側としてアドバイスができるような、幾つかのソフトができればなと思っておりますのでよろしくお願いします。

河南委員

参考までにちょっと1点だけ、バクツとした数字で、特勤手当が約50万円拳がとるんですけども、この内で占める消防署の割合はど

	のくらいですか。
企画総務部 安井委員	100%でございます。 分限休職4名ということで、先ほどの説明では、2名の方は4月から復帰されそうということなんですけど、まだ復帰されない2名の方ってというのは、精神的なほうの病気というふうに考えていいんですか。
企画総務部 隅田座長	そのとおりで、心因的なものが要因で現在休んでおります。 19ページで、職員研修費が内部講師等使って減といったふうな説明がありました。職員の研修は非常に大事だと思っておりますが、他市等との連携も含めながら、丹波篠山市として、職員研修というものは、課長として定められた目標の研修は行われておるという認識でいいでしょうか。
企画総務部	毎年、人材育成基本方針に基づいて研修計画を毎年策定しまして、それに基づいて研修を行っています。ほぼ想定していた派遣研修でありまして内部研修もそれぞれ実施して行われていると思っております。
隅田座長	出席率のほうはいかがでしょうか。ほぼ予定の対象者が受けておるという認識でいいでしょうか。
企画総務部	どうしても仕事の都合であったり、そのとき体調崩したりという欠席はありますけれども、ほぼ予定通り受講していただいている状況です。
田村委員	昨年、委員会で職員の研修に関する内容を行政の職員内では共通に認識を持つようなものがあるんですけども、市民や議会に対してはないというふうにおっしゃってましたので今後用意していきますっていうお声をいただいたんですけども、そちらのほうは進んでおられますでしょうか。
企画総務部	御指摘いただきましたとおり、今年度の研修の実績を取りまとめいたしましたしまして、その分につきまして、議員の皆さん方ももちろん、市民の皆様方にも広くお伝えができるような資料をつくらせていただこうと思っております。
安井委員	15ページの雑入、ホームページバナー広告料、先ほど隅田座長もおっしゃってましたけども、五つ空きがあるということですよ。ホームページで申し込みがあるのを待っているというふうな回答だったと思うんですけど、やはりもう少しアクティブにっていうか、商工会や観光協会に空きがあるんで何とかしてくれませんかとか、やっぱりそ

ういうことをされてもいいんじゃないかと思うんですけどね。議会だよりも広告2枠やってるんですけども、埋まらないときはこっちがもう営業に行って、広告出してくれませんかみたいなことをやったりはしましたんでね。やっぱりもうちょっと切迫感を持って、仕事に向かっていただけないかなと思いました。

企画総務部

今、御指摘をいただきました件につきましては、何らかのアプローチの方法を今後検討させていただきたいと思います。

■議会事務局

日程第1 議案第17号 令和元年度丹波篠山市一般会計補正予算（第10号）

【主な説明】

補正予算書に基づき説明

【主な質疑】

安井委員

政務活動費補助金っていう、議長の分は入れてないということなんですけど、これは基本的には議長の分も入ってるんですけども議長から申し出があって入れてないというふうに理解していいんですか。

議会事務局

おっしゃるとおりで、議長は今年度は使わないということで、減額をさせていただいております。

■議員協議

隅田座長

議員間で議論・確認等をしておいた方がよいこと等があれば、発言願う。

— 意見等なし —

— 市長等への質問等なし —

■意向確認

議案第17号 令和元年度丹波篠山市一般会計補正予算（第10号）

— 修正・反対等の意見なし —

隅田座長

この結果を含め、各委員との質疑、答弁の内容について、座長報告

を行いたい。報告については、座長に一任いただきたい。

また、本日の会議の記録については、事務局に調製させ、座長、副座長において内容確認を行いたい。

— 異議なし —

栗山副座長 挨拶・散会